

健康コラム

face to face の子育てを

●近年、急激に私たちの身近な存在になったスマートフォン(スマホ)。とても便利な反面、子どもへの影響が懸念されます。スマホの使用について考えてみませんか？

●どんな影響があるの？
脳が発達していない赤ちゃんが電子映像や電子音の刺激を常に受けていると、小さな刺激に対してあまり反応しなくなる恐れがあります。

●成長にも影響が…
赤ちゃんの健やかな成長には、五感を育む事が大切です。スマホの刺激だけでは視覚と聴覚に偏ってしまうため、五感を働かせる事ができず、バランスよく育たなくなってしまう。

●「言葉の貯金」をいっぱい！
赤ちゃんはお母さんや家族の声を聴いて「言葉の貯金」をしています。コミュニケーションは、心も豊かにしてくれます。



●一緒に遊びを楽しもう



一緒に体を動かしたり笑ったり…。子どもは実体験を重ねることで、心と体を成長させます。

●今の時代だからこそ、face to face のコミュニケーションを大切にしていきたいですね。

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)

「無料」のはずが6万円？
廃品回収サービスのトラブル！

■どんな相談があるの？
○「無料」とアナウンスしながらトラックで巡回している廃品回収業者を呼び止め、廃品回収を依頼した。作業前に無料であることを確認したが、不用品を軽トラックに積み終えた途端に6万円を請求された。話が違々と抗議

■注意することは？
○「無料回収」をうたって巡回している廃品回収業者に依頼しても、積み込み料金や家電リサイクル料金を請求されるケースが

■困ったときは？
○本庁市民生活総合相談センター(☎24-2111 内線259)へ

したが、「回収代金は無料だが、積み込み料金は発生する」と言われた。しつこく請求されたので、仕方なく手持ちの3千円だけ支払った。残金は近いうちに取りに行くと言われた

あるので注意しましょう
○粗大ごみなどの処分は市のルールに従い、不明な点は市に確認しましょう
○一般廃棄物は市区町村の許可を受けた事業者しか収集・運搬できません。安易に廃品回収業者に処分を依頼することは避けましょう

市民生活コーナー

子どもから大人まで
絵本の魅力を届けたい

◆絵本専門士として活動する牧野幹さん。やさしく語り掛けるように絵本を読み聞かせます。

＊絵本専門士とは：絵本の特性と可能性を熟知した、絵本のスペシャリスト。平成26年度に国立青少年教育振興機構が定めた民間資格

◆絵本専門士となつたきっかけは
小学校の教員をしていたころ、子どもたちに絵本を読んでもらっていました。読み聞かせを聞く子どもたちの表情が好きで、退職後も絵本を読むことができればと思っていたときに専門士の資格を知りました。

◆絵本の魅力は
絵本は、新しい出会いが待っている扉です。ページをめくるたびにあふれる、見たことの無い世界や絵、言葉の魅力が、子どもの感性や想像力を豊かにします。また、絵本は親子のコミュニケーションツールです。読み聞かせで子どもと楽しい時間を共有できることも絵本の魅力です。

◆今後の目標は
絵本から遠かった大人たちにもその魅力を届けたいです。子どもから大人まで、一緒に絵本を楽しむような場をつくっていきたいですね。

イー・トゥーブ PERSON'S 116



みき
牧野 幹 さん
(星が丘 62歳)

◆四季のお話会(第1回)
大人も楽しめる絵本や宮沢賢治関連の絵本の読み聞かせをします(入場無料)。
日時：7月30日(土)、午後2時
会場：賢治の広場

いきいき仲間たち



「都山流東和尺八同好会」は、旧花巻市の中央公民館で活動していたメンバーが中心となり、東和町で会員を募ったことをきっかけに、昭和52年に結成されました。約40年にわたって活動を続け、現在は11人の会員が芸術祭への参加や福祉施設への慰問、イベント出演などを中心に活動しています。

同会では、琴や三味線と合奏する伝統音楽「三曲」を演奏。最初は音を出すことも難しい尺八ですが、その優雅な音色に魅了され、忙しいながらも時間をやり繰りして練習を重ねてきました。

代表の小原さんは「音色を作るのは大変ですが、仲間と一緒に練習を重ね、曲が仕上がった時の達成感は何とも言えません」と話します。

「継統は力なり」を合い言葉に、伝統音楽の継承につながる趣味をみんなで楽しんでいます。



毎週水曜日、東和福祉センターで練習する会の皆さん。会員も随時募集中です

日本の伝統音楽を継承していきたい

とざん 都山流 東和尺八同好会

【問い合わせ】
代表 小原 茂明さん
(☎42-2820)

地域おこし協力隊

大迫町の魅力発信は市内から

昨年9月より大迫でブドウ産業に関する活動をしている地域おこし協力隊員です。

首都圏在住であった私が、花巻市地域おこし協力隊に志願した理由は二つあります。一つ目は私の一番の趣味が「飲み食い」であるため、食べ物に関わる仕事がしたかったこと。二つ目は第二の人生を過ごすなら本当に好きなところ、もしくは全く関わりの無いところに住みたいと考えていたこと。失礼ながら活動前は花巻を全く知りませんでしたが、結果的に大迫町を選んで正解でした。

大迫町は「県の中心に位置する便利な花巻」と

は言い難いかもしれませんが「便利じゃないけどそれ以上の魅力がある大迫町」と私は思っています。

私の地域おこし協力隊としての活動のメインは、ブドウを使った加工品を考えることです。それも含めたさまざまな活動で、ブドウ生産者や大迫町の人たちと一緒に大迫町の魅力を発信していきたいです。市外の人たちはもちろんですが、まずは花巻市民に大迫町の魅力をもっと知っていただきたいと思います。



ブドウの巻きひげ。大好きな部分です



大迫町のマンホール。こんなところにもブドウがあります